

- 2面 介護保険制度の改正ほか
- 3面 目黒区美術館のワークショップほか
- 4面 区職員派遣制度ほか
- 5面 情報ボックスほか
- 6面 区展作品募集ほか
- 7面 健康・衛生一口メモほか
- 8面 チャレンジめぐろほか



気軽にご相談ください

人権身の上
相談



区人権政策課 ☎5722-9280

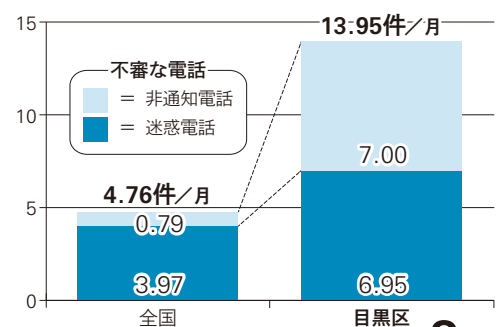
振り込め
詐欺には

「電話に出ない」という対策



目黒は狙われている!

不審な電話の着信件数の比較
(1世帯当たりの月平均件数)



月に14件。

オレオレ詐欺などの不審な電話が、1世帯へ1カ月間にかかってきたおおよその件数です。

区は、昨年11月から自動着信拒否装置「トビラフォン」を50台導入し、不審な電話をブロックするサービスを始め、5カ月で2,107件もの不審な電話をブロックする成果をあげました。同時に、目黒区は全国平均と比べて3倍もの不審な電話がかかってきていることが判明しました(右上グラフ参照)。

電話による詐欺は誰にでも起こり得ます。被害を防止するには、詐欺の実態を知り、事前にしっかりと対策を立てておくことが大切です。

区生活安全課生活安全係 (☎5722-9667、☎5722-9409)

特殊詐欺の実態

区では昨年、69件・約2億2000万円の被害が発生しました。前年よりも28件・約8,000万円の被害が増加しています。さまざまな防止対策を行っているものの、被害が拡大しているのが現状です。発生が多い詐欺には次のようなものがあります。

●オレオレ詐欺

息子や孫を装う手口も依然発生していますが、最近は警察官や弁護士、銀行員などを装う手口が多発しています。「あなたの口座が犯罪に使われている」などと不安をあおって、暗証番号を聞き出し、キャッシュカードをだまし取ろうとします。

●還付金詐欺

区職員などを装って「過払いの税金や医療費を返します。至急手続きしてください」などと言ってATM(現金自動預払機)へ誘導し、携帯電話で還付案内をするふりをして、犯人の口座に金を振り込ませようとしています。

●架空請求詐欺

郵便やメールで「有料サイト閲覧料金が未納です。入金しなければ法的措置に移行します」などと架空の料金請求を行い、金をだまし取ろうとします。最近は、仮想通貨での決済を要求する手口も発生しています。

トビラフォン 都内自治体初のサービス

犯罪の可能性が高い電話は着信音が鳴りません

言葉巧みにだまそうとする犯人とは、話さないことが最善策です。トビラフォンは、警察から提供される詐欺グループなどの情報を基に不審な電話を判別し、自動で着信を拒否します。犯人と話することがなくなるため、被害防止に高い効果が期待できます。詳細は生活安全課へお問い合わせください。

*発信番号を表示するサービスの契約が別途必要

無料貸し出し(*)



▲トビラフォン

詐欺を防ぐために

①不審な電話に出ない

在宅時も留守番電話の設定にしておくなど、犯人からの電話に出ないことが有効です。区は、犯人への警告メッセージが流れる自動通話録音機の無料貸し出しも行っています。

②ATMに行かない

医療費などの返還はATMではできません。ATMへ誘導されたら詐欺を疑い、警察へ連絡しましょう。

③折り返し電話訓練

区は毎月15日をオヤコールの日とし、親から子どもや孫に電話をかけるオヤコールを推奨しています。毎月の連絡の中で、不審な電話があったら、折り返し電話をかける訓練をしておくなど、日頃の予防も大切です。



▲碑文谷警察署 平井巡査部長



怪しいと思ったら迷わず連絡を!

目黒警察署
☎3710-0110

碑文谷警察署
☎3794-0110

◀目黒警察署 佐藤巡査長